

# 地域連携実践

## Cooperation with Local Community

### プログラムの趣旨・概要

今や都市部出身者の多い本学であるが、在学中に地域と関わり、あるいは、卒業後にも何らかの形で地域に貢献したいと考える学生が少なくない。その場合、地域連携について体系的に学び、実際に地域で活動することは大きな意味をもつ。実践型教育プログラム「地域連携実践コース」は、このような学生に対するプログラムを設定して、必要な知識、経験、スキルを養成し、コースの修了を本学として公式に認定するものである。

ここでの地域連携とは、おもに大学・大学生と地域が連携することにより、地域活性化や課題解決など、広い意味で地域に貢献することをいう。また、本コースでの「地域」とは、日本の市町村、または、それよりも小さい単位とする。

必修科目の「地域連携学 1/2」は、本学のオリジナルで、地域に関する様々な学問分野、トピックがあるなか、地域連携をテーマに整理、再構成した授業である。これをもって総論的な理解を深める。また、選択科目として、地域で実践的に学ぶ科目、地域連携に必要なスキルを養成する科目を指定している。これらの履修によって、地域とのかかわり方、課題発見、分析方法、プレゼンテーション技術などを身につけてもらう。

そして、これが実践型教育プログラムの特徴であるが、早稲田大学が用意した実践的な課外活動を、科目履修相当として認定する（正規科目としての単位は認定しない）。課外活動には授業とは違った楽しさと難しさがあるが、これらの課外活動から入った学生にも本コースの修了を強く勧める。

グローバル化の時代にあっても、東京一極集中と地方の人口減少、高齢化によって、地域の課題はさらに増えていく。ぜひ積極的に地域連携に取り組んでもらいたい。

### 修了要件

次ページの「プログラム構成科目」の履修、および「プログラム構成活動」へ参加することにより、以下の要件を満たすこと。

1	必修科目「地域連携学 1/2」の単位（計2単位）を修得すること
2	要件1の必修科目以外で、選択科目から4単位、または、5単位を修得すること（要件1と合わせて6単位となるように）
	プログラム構成活動から、1単位相当以上を修得すること（認定上限は2単位相当）
4	要件1～3を合計して、8単位相当以上の単位を修得すること

### プログラムの構成

	必修科目	選択科目	課外活動
履修科目等	地域連携学 1 地域連携学 2	実践的な地域連携科目 地域連携で推奨される科目	授業以外の地域での 実践的な活動
必要単位等 計8単位相当	プログラム構成科目		プログラム構成活動
	項1と2	項3-20から選択 計5単位 ← → 1単位相当×1 計4単位 ← → 1単位相当×2 計4単位 ← → 2単位相当×1	
	計2単位	計6単位相当	
履修目的	地域連携の全体像を 体系的に学ぶ	授業の中で地域連携を学ぶ 地域連携に必要なスキルを養成する	授業の枠にとらわれない 地域での実践的な学びを評価

※ただし、受講の順序は問わない。

◆プログラム構成科目

科目群	項	設置学部・センター	科目名付クラス名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
必修科目	1	GEC	地域連携学 1	1年以上	秋クォーター	月5時限	早稲田	1	履修必須
	2	GEC	地域連携学 2	1年以上	冬クォーター	月5時限	早稲田	1	履修必須
選択科目	3	社会学	農からの地域連携（実習）Ⅰ	2年以上	春学期	水5時限	早稲田	2	
	4	社会学	JA共済寄附講座 農からの地域連携（実習）Ⅱ	2年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2	
	5	GEC	現代都市・地域論	1年以上			早稲田	2	2019年度休講
	6	GEC	地域連携演習 1	1年以上	夏クォーター	土4-5	早稲田	2	
	7	GEC	地域連携演習 2	1年以上	秋クォーター	土4-5	早稲田	2	
	8	GEC	農山村体験実習	1年以上	通年	水4時限	早稲田	4	
	9	GEC	体験の言語化—世界と自分 01~24	1年以上		シラバス参照	早稲田	1	
	10	GEC	海士の挑戦事例から学ぶ地域創生 1	1年以上	春クォーター	金 時限	早稲田	1	
	11	GEC	海士の挑戦事例から学ぶ地域創生 2	1年以上	夏秋期	金 時限	早稲田	3	
	12	GEC	地域連携演習	2年以上	春クォーター	土4-5	早稲田	2	
	13	GEC	地域連携演習 4	2年以上	冬クォーター	土4-5	早稲田	2	
	14	GEC	リーダーシップ開発：理論とスキル 01/02	1年以上	春クォーター	水5-6	早稲田	2	
		GEC	リーダーシップ開発：理論とスキル 03/04	1年以上	秋クォーター	金5-6	早稲田	2	
	15	GEC	リーダーシップ開発：問題解決プロジェクト 01/02	1年以上	夏クォーター	水5-6	早稲田	2	2018年度以前科目名称：「リーダーシップ開発 1 (LD1)」
		GEC	リーダーシップ開発：問題解決プロジェクト 03/04	1年以上	冬クォーター	金5-6	早稲田	2	
	16	GEC	リーダーシップ開発：社会人へのトランジション	1年以上	冬クォーター	月5-6	早稲田	2	
	17	GEC	JA共済寄附講座 東北復興のまちづくり—農からの地方創生—		2016年廃止			2	過年度年に単位修得済みであれば、修了要件として算入可。
	18	GEC	JA共済寄附講座 東北復興のまちづくり—農からの地方創生— 1		2017年廃止			1	
19	GEC	農からの地方創生（実習）Ⅰ		2018年廃止			2		
20	GEC	JA共済寄附講座 農からの地方創生（実習）Ⅱ		2018年廃止			2		

◆プログラ構成活動

項	活動名称	活動内容	時間数
1	地域連携ワークショップ	早稲田大学「地域連携ワークショップ」では、連携する自治体から出される課題に対してチームで取り組み、フィールドワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を行う。交通費や宿泊費に補助あり。毎年数箇所で開催されるが、このうち1箇所に参加することで2単位相当と認定する（正規科目としての単位は認定しない）。 ※詳細は早稲田大学教育連携課のウェブサイト参照。	2単位相当
2	プロフェッショナルズ・ワークショップ	企業のプロフェッショナルズとともに各種アクティビティを通じて、表面的な就業体験ではなく、より実践的な仕事の知識や技術、社会人としてのコミュニケーション能力を身につけ、社会人基礎力を醸成するとともに、課題解決能力を体得する。毎年いくつかのプログラムが用意されるが、このうち1つに参加することで2単位相当と認定する（正規科目としての単位は認定しない）。 なお、本活動が対象とするのは、早稲田大学教育連携課が提供する課外活動である。 ※詳細は早稲田大学教育連携課のウェブサイト参照。 ※GECには同名の授業科目があるが、授業はプログラムの趣旨から認定の対象外なので注意してほしい。	2単位相当
3	校友連携プログラム	早稲田大学「校友連携プログラム」では、地域で活躍する先輩を訪ねて、日々の生活や職場を体験し、また地域コミュニティの人々と触れ合うことで、自分と異なる多様な価値観を学び、自己理解を深める。毎年数箇所で開催されるが、このうち1箇所に参加することで1単位相当と認定する（正規科目としての単位は認定しない）。 ※詳細は早稲田大学 社会連携課のウェブサイト参照。	1単位相当
4	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC) 「スタディーツアー」	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC) が主催する「スタディーツアー」では、日本各地で地域の実態を学ぶ様々な体験をすることができる。このうち現地泊4日以上で実施されるものに1箇所参加することで1単位相当と認定する（正規科目としての単位は認定しない）。 ※詳細はWAVOCのウェブサイト参照。	1単位相当